

総合科学教育研究センター教員個人業績

凡 例

以下は、秋田県立大学総合科学教育研究センター所属教員の2021年1月1日から2021年12月31日までに公表あるいは実施された主な業績を示すものである。業績の分類は、以下の5つのカテゴリに従った。

- I 著書・学術論文等
- II 学会報告等
- III 社会活動・受賞等
- IV 講演・公開講座等
- V その他の活動

高橋 秀晴 教授

I 著書・学術論文等

*学術論文等

- 1) 「瀉の文学散歩／八百年の時空を巡る」『秋田魁新報』2020年4月4日～2021年8月7日、土曜文化欄連載全70回（単著）

II 学会報告等

*学会活動

- 1) 高橋秀晴「吉野作造と滝田樗陰」、日本社会文学会、2021年11月6日（於：吉野作造記念館／オンライン併用）
- 2) シンポジウム「『種蒔く人』とフランス・ドイツ・ロシア —創刊100年後の検証—」コメンテーター、日本比較文学会2021年度東北大会、2021年11月13日（於：カレッジプラザ／オンライン併用）
- 3) 高橋秀晴「『新文戦』第三巻第四号（昭和九年四月一日）報告」、「昭和前期プロレタリア文化運動資料集」を読む会、2021年12月12日（オンライン）

III 社会活動・受賞等

*社会活動

- 1) 秋田県立秋田南高等学校学校評議員、2005年4月～
- 2) 秋田県高等学校教育研究会国語部会顧問、2006年7月～
- 3) あきた文学資料館収集検討委員、2007年4月～
- 4) 秋田県立循環器・脳脊髄センター医薬品受託研究審査会委員、2007年11月～
- 5) 秋田市公文書管理委員会委員、2013年5月～
- 6) A B S秋田放送番組審議会委員長、2014年7月～
- 7) 秋田県文化財保護審議会委員、2014年9月～
- 8) 秋田市立佐竹資料館寄贈および寄託事前審査会委員、2014年10月～
- 9) 秋田県立秋田高等学校同窓会常任理事、2014年10月～
- 10) 私立大学等即戦力人材育成支援事業選定に係る審査委員会委員、2018年4月～
- 11) 公益財団法人さきがけ文学賞渡辺喜恵子基金理事、2018年6月～
- 12) 秋田県立図書館協議会会長、2019年11月～
- 13) 日本現代詩歌文学館振興会評議員、2020年4月～

*学会活動

- 1) 日本近代文学会東北支部運営委員、1995年5月～
- 2) 日本社会文学会評議員、2007年7月～
- 3) 地域文化研究会 AKITA 事務局長、2009年4月～
- 4) 日本社会文学会理事、2011年6月～
- 5) 秋田風土文学会会長、2015年2月～
- 6) 「種蒔く人」顕彰会幹事、2016年4月～
- 7) 「種蒔く人」顕彰会副会長、2017年6月17日～

- 8) 八郎潟・八郎湖学研究会役員、2018年3月～
- 9) 「種蒔く人」一〇〇周年記念事業実行委員会事務局長、2018年9月～
- 10) 『『種蒔く人』の射程——一〇〇年の時空を超えて——』編集委員長、2019年10月～
- 11) 日本近代文学会東北支部監事、2021年7月～
- 12) 「種蒔く人」顕彰会臨時総会運営、2021年2月23日
- 13) 「種蒔く人」顕彰会総会運営、2021年4月24日
- 14) 「種蒔く人」顕彰会総会運営、2021年6月26日
- 15) 日本近代文学会東北支部夏季大会運営、2021年7月10日
- 16) 「種蒔く人」顕彰会総会運営、2021年8月28日
- 17) 八郎潟・八郎湖学研究会総会運営、2021年12月18日

IV 講演・公開講座

* 講演・公開講座

- 1) 高大連携高校生サマーキャンプ「学問別ガイダンス」2021年7月14日（於：秋田県立大学／オンデマンド）
- 2) 高大連携高校生サマーキャンプ「シンポジウム／将来の自分のために、今、何が必要か？」2021年7月16日（於：秋田県立大学／オンデマンド）
- 3) 秋田市中心高年齢者大学「『良心に背く出版は、殺されてもせぬ事。』—新潮社を創業した佐藤義亮の心意気—」2021年8月4日（於：秋田市役所）
- 4) 八郎潟・八郎湖学研究会「『潟の文学散歩』の舞台裏」2021年12月18日（於：はちパル）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 令和3年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「新資料・旧蔵資料による『種蒔く人』主要同人今野賢三の研究」（課題番号19K00324）研究代表者

* 記事・取材協力等

- 1) 「教職課程FD研修会」『学報「カリヨン」』No.10、2021年3月1日、2ページ
- 2) 「とうほく名作散歩／雑誌 種蒔く人 秋田市／港湾労働者の思い継ぐ」『読売新聞』2021年3月27日
- 3) 「『Tuber—』合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2021年4月23日
- 4) 「ノーベル文学賞候補に石川達三／作品の価値、再評価」『秋田魁新報』2021年5月11日
- 5) 「『ラガーマンと、—』合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2021年6月30日
- 6) 「秋田放送番組審議会／『芸人、秋田さ帰る。』合評」『秋田魁新報』2021年7月21日
- 7) 「声の十字路／『潟の文学散歩』を読み終えて」『秋田魁新報』2021年8月25日
- 8) 「コンパス／生誕100年」『秋田魁新報』2021年10月17日
- 9) 「SDGs ウィーク特番合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2021年10月26日
- 10) 「秋田放送番組審議会／『ぶちくら』を合評」『秋田魁新報』2021年11月30日
- 11) 「『種蒔く人』誕生100年／中／投稿欄 多種多様な人々／SNSのような言語空間」『読売新聞』2021年12月10日

* 被書評・引用・言及等

- 1) 今野智「松田解子 小説「朝の霧」研究」／「朝の霧」の舞台を訪ねて／ふたたび船越へ」『協和の
鉦山と松田解子文学を伝える会会報』第46号、2021年2月10日、6ページ
- 2) 最上健造「伊藤永之介の出会った人々」『海風』38号、2021年9月30日、56ページ
- 3) 児玉金友「「種蒔く人」100周年ーいま何を学び受け継ぐかー」『海風』38号、2021年9月30日、71ページ
- 4) 関口収『ふるさと秋田の文学を学ぶ～郷土文学を教材とした2つの授業』銀河書籍、2021年12月16日、
24ページ、125ページ、127ページ～142ページ、212ページ

渡部 諭 教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) 渡部諭・澁谷泰秀、「特殊詐欺抵抗判定式改良の試み」『秋田県立大学総合科学研究彙報』2021年3
月30日、第22号、1－6ページ（共著）
- 2) Kadoya, Yoshihiko. Khan, Mostafa Saidur Rahim. Narumoto, Jin. and Watanabe, Satoshi.
「Who Is Next? A Study on Victims of Financial Fraud in Japan」『frontiers in Psycholog-
y』2021年7月2日、第12巻、1－13ページ（共著）
- 3) 渡部諭・澁谷泰秀、「高速検約決定木による特殊詐欺抵抗力の判定」『データ分析の理論と応用』2021
年8月1日、第10巻、第1号、29－44ページ（共著）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団「デジタルナッジが高齢者の選択行動に与える効果に関するパ
ラデータ分析による検討」、2020年4月～2022年3月、研究代表者
- 2) 令和3年度学長プロジェクト研究費「創造的研究」「係留ビネット法とランダム切片モデルによる潜
在詐欺被害者分類と被害防止プログラム」、2021年4月～2022年3月、研究代表者

小松田 儀貞 准教授

II 学会報告等

* 研究会報告

- 1) 小松田儀貞「アート化科研～暫定的総括（1）」artification 科研研究会、2021年4月9日（金）
※オンライン開催
- 2) 小松田儀貞「アート化科研～いくつかの論点について～」artification 科研研究会、2021年11月26日
（金）※オンライン開催

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) エフエム秋田番組審議会委員、2008年4月～（副委員長2010年4月～）
- 2) 秋田うつくしま県人会事務局、2011年7月～
- 3) 秋田市男女共生推進会議委員（副委員長）2016年4月～
- 4) 秋田市男女共生推進会議専門委員会委員長（2021年7月～）
- 5) 秋田市小・中学校適正配置推進委員会委員、2016年6月～（副委員長2021年12月～）

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 講師「コロナ禍におけるメディアと多様性社会」（社会人ブラッシュアップ講座）（主催：秋田市）
2021年3月6日（土）13：30～14：40 於：中央市民サービスセンター洋室4（秋田市役所）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 2020～2023年度基盤研究（B）「社会とアートの共進化的動態とartificationの諸相に関する領域横断的研究」（課題番号20H01576）
- 2) 2017～2021年度基盤研究（C）「包括型社会の確立に向けた地域コミュニティと教育の連携・協働についての研究」（課題番号17K04602）

内山 応信 准教授

I 著書・学術論文等

* Proceeding

- 1) Uchiyama, M. (2021) 「Relationship between postural control adaptation under visual deprivation and various cognitive functions in healthy young people.」『The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine』2021年、第10巻6号、405ページ（単著）

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 内山応信「健常青年における視覚遮断外乱時の立位姿勢制御の適応度と各種認知機能水準との関係」第76回日本体力医学会、2021年9月17～30日（オンデマンド配信）
- 2) 内山応信「COVID-19感染拡大期の自粛生活中における大学初年次生の精神的健康及びその関連要因の実態」日本体育・スポーツ・健康学会第71回大会、2021年9月8日（於：筑波大学、オンライン開催）
- 3) 内山応信「COVID-19感染拡大期に自粛生活を強いられた大学入学者は座位行動量、特にネット利用時間に依存して高い抑うつ症状を示した」日本体育測定評価学会第20回記念大会、2021年2月28日

(於：長土堀青少年交流センター、オンライン開催)

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 秋田市第4次秋田市スポーツ振興マスタープラン策定検討委員会委員、2021年4月～
- 2) 令和二年度指定スーパーサイエンスハイスクール、横手高等学校理数科2年スポーツ科学班「研究課題」指導・支援、2020年7月～2021年2月
- 3) 秋田市地域づくり交付金事業「まち歩き健康づくりマップ作成推進事業」講師、2019年9月20日～2021年2月20日
- 4) 秋田市スポーツ振興基金運営委員会委員、2016年5月～
- 5) 秋田市チャレンジデー実行委員会委員、2016年4月～
- 6) 秋田県スポーツ科学センター AKITA スーパーわか杉っ子発掘プロジェクト実行委員会委員、2011年5月～
- 7) 秋田県立循環器・脳脊髄センター医薬品受託研究審査委員会委員、2010年4月～
- 8) 秋田県スポーツ科学センターアスリート総合診断アドバイザー、2009年5月～

* 学会活動

- 1) 学術論文査読、日本運動・スポーツ科学学会『運動とスポーツの科学』、2020年3～7月
- 2) 日本教育医学会理事、2015年4月～
- 3) 日本体力医学会東北地方会幹事、2010年4月～

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 秋田県教育委員会主催、秋田県立大学共催、令和三年度キャリア教育充実事業「高大連携高校生サマーキャンプ学問別ガイダンス（スポーツ科学）」講師、2021年7月27日～8月5日（於：オンデマンド配信）
- 2) 秋田県生涯学習推進本部及び秋田県教育委員会主催、秋田県生涯学習事業「あきたスマートカレッジあきた教養講座」講演「良い姿勢と動作で現役続行～健康を保つ姿勢、日常動作～」講師、2021年10月09日（於：秋田県生涯学習センター）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）、「他者動作のミラーリングを利用した簡便で新奇な軽度認知症スクリーニング法の提案」（研究課題/領域番号18K11102）、2018年4月～2022年3月、研究代表者

* 被書評・引用・言及等

- 1) 被引用：『Aging Clinical and Experimental Research』『Alcohol and Alcoholism』『Biology』『BMC Pediatrics』『BMC Sports Science, Medicine and Rehabilitation』『Chinese Journal of Tissue Engineering Research』『European Journal of Physical and Rehabilitation Medicine』

『European Journal of Sport Science』『Experimental Brain Research』『Frontiers in Human Neuroscience』『Frontiers in Neuroscience』『Gait and Posture』『Healthcare (Switzerland)』『Human Movement Science』『International Journal of Developmental Neuroscience』『International Journal of Sports Physical Therapy』『Journal of Applied Research in Intellectual Disabilities』『Journal of Biomechanics』『Journals of Gerontology - Series A Biological Sciences and Medical Sciences』『Journal of Physical Education and Sport』『Journal of Sport Rehabilitation』『Journal of Women and Aging』『Lecture Notes in Networks and Systems』『Manuelle Medizin』『Neurocritical Care』『Pakistan Journal of Medical and Health Sciences』『Perceptual and Motor Skills』『PLoS ONE』『Reviews in Endocrine and Metabolic Disorders』『Science and Sports』『Symmetry』

など、査読付き学術雑誌掲載原著論文による被引用計38件～

宮本 雲平 准教授

I 著書・学術論文等

*学術論文等

- 1) 宮本雲平「微分方程式と次元解析をテーマとした物理の高大接続授業 I」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2021年3月30日、第22号、7～21ページ(単著)
- 2) 宮本雲平「大学生が記号論理学を学ぶ意義と教材の一例」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2021年3月30日、第22号、109～119ページ(単著)
- 3) 宮本雲平「微分方程式と次元解析をテーマとした物理の高大接続授業 II」『秋田県立大学ウェブジャーナル A (地域貢献と研究成果)』(秋田県立大学) 2021年11月30日、第9号、139～147ページ(単著)

II 学会報告等

*学会報告

- 1) 小磯深幸、宮本雲平「2つの互いに平行な超曲面上に自由境界を持つ平均曲率一定超曲面の安定性」日本応用数学会2021年度年会、幾何学的形状生成研究部会オーガナイズドセッション、2021年9月7日(於: 芝浦工業大学、オンライン)

*学会報告座長

- 1) 座長、The 30th Workshop on General Relativity and Gravitation in Japan, Parallel Session D1 a, 2021年12月9日(於: 早稲田大学、オンライン)
- 2) 座長、第22回「特異点と時空、および関連する物理」研究会、2021年12月29日(於: 舞鶴高専、オンライン)

III 社会活動・受賞等

*社会活動

- 1) 第22回「特異点と時空、および関連する物理」研究会、世話人、2021年12月28～30日(於: 舞鶴高専、

オンライン)

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 県大・読売講座：県大20年の研究力で秋田の未来を読む「ブラックホールからタイムマシンまで：アインシュタインの一般相対論」、2021年3月6日（於：秋田県立大学、オンライン）
- 2) 秋田県立大学学生・アドミッションチーム主催、ハイレベル数学講座「数学で解く物理の世界」、2021年3月24～26日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）
- 3) 秋田県立大学創造工房主催、創造楽習「LaTeX でかっこいい論文を書こう：数式を自由自在に書けるようになる」2021年6月15～16日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）
- 4) 秋田県教育委員会主催、高大連携高校生サマーキャンプ、学問別ガイダンス物理学「一般相対論入門～ブラックホール・重力波とは～」2021年8月6日（於：オンライン）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 文部科学省科学研究費、基盤研究（C）「黒様体法を用いた高次元ブラックホールの流体力学的解析」研究代表者、600,000円

* 新聞・雑誌掲載等

- 1) 読売新聞、「県立大読売講座 物理学の面白さ語る 来月6日配信 宮本准教授へ質問を」2021年2月18日
- 2) 読売新聞、「県立大読売講座 相対論の特徴解説 宮本准教授 ブラックホール最新研究も」2021年3月7日
- 3) 読売新聞、「県立大読売講座 相対論の黄金期着実に ブラックホール研究進む」2021年3月20日

鈴木 祐丞 助教

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) 鈴木祐丞「大学の授業のオンライン化をめぐる一考察——「異物」を経験することの重要性について——」、『秋田県立大学総合科学研究彙報』、第22号、23-27頁、2021年3月（単著）
- 2) Yusuke Suzuki, "Kierkegaard in Wittgenstein's *Tractatus*," 『新キェルケゴール研究』、第19号、1-17頁、2021年5月（単著）
- 3) 鈴木祐丞「キェルケゴールの〈実存哲学〉——〈実存哲学〉の系譜の構築へ向けて——」、『東北哲学学会年報』、No. 37、47-63頁、2021年5月（単著）
- 4) 鈴木祐丞「ウィットゲンシュタインの「宗教的観点」——『論考』とトルストイ、『探究』とキェルケゴール』、『現代思想』、vol. 49-16、150-164頁、2021年12月（単著）

<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p> <p>1) 鈴木祐丞・須藤孝也「須藤孝也「キルケゴールにおける想像力と信仰」合評」、第3回キルケゴール・セミナー、オンライン (Zoom)、2021年7月</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 社会活動</p> <p>1) 中通総合病院倫理委員会委員、2018年4月～</p> <p>2) 秋田県薬剤師会研究倫理審査委員会委員、2019年4月～</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) キルケゴール協会理事、2016年7月～</p> <p>2) キルケゴール・セミナー世話人代表、2017年7月～</p> <p>3) 実存思想協会幹事、2017年8月～</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p> <p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 秋田哲学塾第9回哲学カフェ、2021年9月5日15時～17時 (於：ココラボラトリー+Zoom)、「コロナ禍で読む『リヴァイアサン』」</p> <p>2) アニマルライツチャンネル vol. 22、2021年11月11日20時半～22時半、「動物 (生物) への配慮をめぐって」</p>
<p>V その他の活動</p> <p>* 助成研究</p> <p>1) 科研費 基盤 (C) 「キルケゴールの日記——邦訳、出版と研究の試み」、2020～2024年度、研究代表者</p> <p>* その他</p> <p>1) 事典項目執筆：ハイデガー・フォーラム編『ハイデガー事典』、テーマ編「キルケゴール——ハイデガーの「共感的反感」」、人名編「キルケゴール」、昭和堂、2021年6月</p>

渡部 昌平 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 著書</p> <p>1) 会沢信彦・渡部昌平編『生徒指導・進路指導』北樹出版、2020年3月30日 (共編著)</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) 渡部昌平「現代の社会事情に合わせた生徒指導のあり方に関する検討—時代に合わせた生徒指導とは—」</p>
--

『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2021年3月31日、第22号、29～32ページ（単著）

- 2) 渡部昌平「相談支援におけるタロットの活用」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2021年3月31日、第22号、33～38ページ（単著）

* proceedings

- 1) 渡部昌平「「外から言葉を与える」ことによるクライアントの内省の可能性」『日本産業カウンセリング TODAY』2021年3月、Vol. 3 No. 3、1～7ページ
- 2) 渡部昌平「大学のキャリア教育（1）大学キャリア教育の現状と課題」『J C D A ジャーナル』2021年5月、No.79、20～21ページ
- 3) 渡部昌平「大学のキャリア教育（2）学生の興味・関心を明らかにする」『J C D A ジャーナル』2021年8月、No.80、16～17ページ
- 4) 渡部昌平「大学のキャリア教育（3）比喩やイメージを活用する」『J C D A ジャーナル』2021年11月、No.81、20～21ページ

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 渡部昌平「学生ポートフォリオの入力方法の変更が提出率に及ぼす影響に関する探索的研究」日本リメディアル教育学会東北地区大会、2021年1月9日（於：東北大学→コロナ禍のため予稿集の作成・配布で終了）予稿集 pp.11-12.
- 2) 渡部昌平「グループ活動を活性化させる教員の働きかけ」日本ブリーフサイコセラピー学会第31回オンライン大会、2021年6月26日（於：オンライン）
- 3) 渡部昌平「学生ポートフォリオの入力時期の変更が提出率に及ぼす影響に関する探索的研究」日本リメディアル教育学会第16回全国大会、2021年8月20日（於：オンライン）
- 4) 渡部昌平「具体的なキャリア形成の効果的な支援に関する探索的研究」日本キャリア教育学会第43回研究大会ポスター発表、2021年11月7日（於：金沢工業大学→オンライン）
- 5) 浅野浩美・渡部昌平「過去のキャリア教育及び将来の幸せの理解度と求めるキャリア支援について－大学生コメントの計量テキスト分析結果から－」日本キャリア教育学会第43回研究大会発表、2021年11月7日（於：金沢工業大学→オンライン）
- 6) 渡部昌平・本田周二・高丸理香・神原歩「キャリア教育と心理的安全性」日本キャリア教育学会第43回研究大会会員企画シンポジウム、2021年11月7日（於：金沢工業大学→オンライン）
- 7) 渡部昌平「クライアントの新たな語りを引き出す仕掛け」日本キャリア・カウンセリング学会第26回大会動画発表、2021年11月14日（於：オンライン）
- 8) 渡部昌平・水野みち・藤田廣志・新目真紀「海外のキャリアカウンセリング事情」日本キャリア・カウンセリング学会第26回大会公募シンポジウム、2021年11月14日（於：オンライン）
- 9) 渡部昌平「教職科目「教育相談」を通じて、学生はカウンセリングやクラスの雰囲気作りの何を重要と認識するのか」日本教育カウンセリング学会第18回研究発表大会、2021年11月20日（於：オンライン）
- 10) 渡部昌平「キャリアコンサルティング技法を市民に提供する効果と課題」東北心理学会第74回大会、

2021年12月11日（於：オンライン）

* 学会報告座長

- 1) 日本産業カウンセラー協会第50回全国研究大会 in 東北 第三分科会「産業カウンセラーの実践力を高めるために～個人へのアプローチ・組織へのアプローチ」、2021年5月30日（於：仙台国際センター）コーディネーター※コロナ禍のため中止
- 2) 日本キャリア教育学会第39回研究セミナー「キャリア教育と社会正義」、2021年6月6日（於：zoom）企画調整および司会・パネリスト
- 3) 東北心理学会第74回大会 研究発表6 座長

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 秋田県地域訓練協議会会長、2012年6月～
- 2) 秋田県ジョブ・カード運営本部会議議長、2012年11月～2021年3月
- 3) (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会会長、2015年4月～
- 4) キャリアコンサルティング技能検定 指定試験機関技能検定委員、2017年5月～
- 5) 秋田労働局キャリアコンサルタント更新講習運営委員会委員、2020年3月～ ほか

* 学会活動

- 1) 日本キャリア教育学会 理事（2018年9月～）情報委員会副委員長（2018年9月～）北海道・東北地区部会幹事（2021年1月～）
- 2) 日本産業カウンセリング学会（2021年4月より日本キャリアカウンセリング学会に名称変更） 学術論文査読
- 3) 日本教育カウンセリング学会 編集査読協力委員（2016年3月～）
- 4) 日本キャリアデザイン学会 学術論文査読（副査）
- 5) 日本産業カウンセラー協会秋田県運営部自主学习組織「秋田ふれあいこまち会」副会長（2019年4月～） ほか

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) キャリコンサロン「クランボルツの偶発的学習理論」、2021年1月24日（於：zoom）
- 2) 令和2年度課題研究推進校実践発表会「情報モラル教育」、2021年2月2日（於：秋田市教育研究所）
- 3) 秋田労働局キャリアコンサルタント更新専門講習「技能Ⅲ」、2021年2月5日（於：秋田労働局）
- 4) ACCN 関西支部「ナラティブ・アプローチ」、2021年2月21日（於：zoom）
- 5) ACCN 九州・沖縄支部「クランボルツの偶発的学習理論」、2021年3月6日（於：zoom）
- 6) 国家資格キャリアコンサルタント更新講習「ナラティブ・アプローチ」、2021年3月7日（於：リカレント新宿校→zoom）
- 7) 無料市民講座「ライフキャリアカウンセリング入門」、2021年3月13日（於：秋田ビューホテル飛翔6）
- 8) 中学校新任進路指導主事研修講座「中学校におけるキャリア教育」、2021年6月17日（於：秋田県総

総合教育センター)

- 9) 秋田市教職員研修：進路指導主事棟研修会「学びと自己の成長をつなぐキャリア教育」、2021年7月13日（於：秋田市教育研究所）
- 10) あじさいの会「みんなで考える子どものキャリア教育」、2021年7月24日（於：仙北市角館庁舎）
- 11) 国家資格キャリアコンサルタント更新講習「ナラティブ・アプローチ」、2021年7月25日（於：リカレント新宿校→zoom）
- 12) 日本産業カウンセラー協会秋田県運営部自主学習組織こまち会「zoomによる面接練習・事例検討」、2021年8月8日（於：zoom）
- 13) 教員免許状更新講習「キャリア教育と日常の接続～自己理解と協力・学びの必要性の理解」、2021年8月17日（於：秋田県立大学）
- 14) 国家資格キャリアコンサルタント更新講習「質的キャリア・アセスメント」、2021年8月22日（於：リカレント新宿校→zoom）
- 15) 国家資格キャリアコンサルタント更新講習「ナラティブ・アプローチ」、2021年9月5日（於：リカレント新宿校→zoom）
- 16) 国家資格キャリアコンサルタント更新講習「質的キャリア・アセスメント」、2021年9月18日（於：リカレント新宿校→zoom）
- 17) ウーマンキャリアラボ「ナラティブキャリアカウンセリングの具体的な使い方」「新社会人との向き合い方」2021年9月25日（於：河辺市民サービスセンター研修室1）
- 18) 小学校キャリア教育推進研修講座「小学校だからこそキャリア教育」、2021年10月7日（於：秋田県総合教育センター）
- 19) 大仙市立平和中学校職業講話「これからの時代を積極的に生き抜くためのキャリアについて考える」、2021年11月18日（於：大仙市立平和中学校）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 平成31年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）「グループ・キャリア・カウンセリング技法を用いた効果的なキャリア教育に関する研究」（課題番号19K02842）

* 記事・コラム・取材協力等

- 1) 秋田魁新報5月15日「「五月病」に理解深めて コロナ下でリスク高まる可能性も」取材協力
- 2) 日本キャリア教育学会ニューズレター10月31日 書評『高校生と大学生がとらにつくる 高大連携授業』執筆

伊藤 大輔 准教授

I 著書・学術論文等

*学術論文等

- 1) 齋藤まゆみ・遠見繁也・伊藤大輔・磯部征尊「授業改革と学び合う学級づくりが生徒の学校生活に与える効果の研究」『愛知教育大学教職キャリアセンター紀要』2021年3月26日、第6号、123～130ページ（共著）
- 2) 伊藤大輔『『総合的な探究の時間』の学習指導に関する一考察：主体的・対話的で深い学びの実現に向けて』『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2021年3月30日、第22号、39～47ページ
- 3) 西聡・伊藤大輔「秋田県立大学における『教職実践演習』の概要と課題：履修カルテ『資質・能力の自己評価』に注目して」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2021年3月30日、第22号、83～93ページ（共著）
- 4) 廣田千明・橋浦康一郎・寺田裕樹・白山雅彦・伊藤大輔「自動改札機を題材としたプログラミング教材」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2021年3月30日、第22号、121～126ページ
- 5) 廣田千明・境英一・小宮山崇夫・橋浦康一郎・菅野秀人・嶋崎真仁・櫻井健二・小峰正史・高橋守・伊藤大輔「大学教育における ICT 環境の整備と活用：ICT を用いた効果的な教授法の確立を目指して」『秋田県立大学ウェブジャーナル A（地域貢献と研究成果）』2021年11月30日、9号、120～132ページ（共著）

*Proceeding

- 1) 川村朋也・磯部征尊・伊藤大輔・平林千恵「特別の教科 道徳と学級力とを関連付けた年間カリキュラムによる実践とその効果」『日本教育工学会研究報告集』（日本教育工学会）2021年10月30日、JSET21-3、150～157ページ

II 学会報告等

*学会報告

- 1) 磯部征尊・倉本哲男・伊藤大輔「Society 5.0 に求められる教員像の確立に向けた研修体制・研修プログラムのデザインー令和元年度と2年度との比較を通してー」日本カリキュラム学会 第32回琉球大学 web 大会、2021年6月27日（オンライン）
- 2) 磯部征尊・小出邦博・伊藤大輔・山崎貞登「生活を工夫し創造する能力の形成過程テストのデザインと評価」日本産業技術教育学会 第64回全国大会、2021年8月29日（オンライン）
- 3) 伊藤大輔「知識の＜教育＞化に関する一考察：パフォーマンス・モデルとコンペタンス・モデルの活動理論的分析」第7回活動理論学会研究大会、2021年9月18日（オンライン）

III 社会活動・受賞等

*社会活動

- 1) 愛知教育大学教職キャリアセンター教員研修部門 自主研修会「第4回 明日からすぐ使える iPad を活用した子供も教師もわくわくする総合的な学習」講師、2021年10月26日（於：名古屋市国際会議

<p>場)</p> <p>2) 大阪府工科高等学校「教育研究部会 (PBL 実践事例研修)」講評者、2021年12月17日 (於:大阪府立今宮工科高等学校)</p>
<p>V その他の活動</p> <p>* 助成研究</p> <p>1) 令和2年度部局提案型研究推進事業「ICT 機器を活用した大学教育のグッドプラクティスの開発」、2021年4月～2022年3月、研究分担者</p> <p>2) 国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B))「『レッスンスタディーとカリキュラムマネジメント教職研修』開発の国際的研究」、2020年10月～2024年3月、研究分担者</p>

高橋 守 教授

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) Takahashi, M. 「The importance of an L2 proficiency: A six-year assessment」、『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2021年3月31日、第22号、49-58ページ (単著)</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p> <p>1) Takahashi, M. 「TOEIC Bridge and ER in remote classes」、全国語学教育学会 (JALT) 分野別研究部会2021年次大会、2021年5月15日 (オンライン開催)</p> <p>2) Takahashi, M. 「ER and English Proficiency: How Many Words Should Students Read? 」全国語学教育学会第47回年次国際大会、2021年11月15日 (オンライン開催)</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) 全国語学教育学会秋田支部役員 (会計担当役員2015年10月～)</p>
<p>V その他の活動</p> <p>* 助成研究</p> <p>日本学術振興会科学研究費、基盤研究 (C)、20K00837 【R2-R4】研究課題「英語学力とエクステンシブ・リーディング (英文多読) の関係」、研究代表者</p>

岡崎 弘信 教授

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>*学術論文等</p> <p>1) 木戸 和彦、橋本 信一、武田 亜希子、<u>岡崎 弘信</u>「AI 搭載の学習者レベルに合わせた出題を可能にするデジタル教材に関する研究」『環太平洋大学研究紀要』（環太平洋大学）2021年3月31日、43～49ページ（共著）</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>*学会報告</p> <p>1) <u>岡崎弘信</u>「コロナ渦中のCALL～on-lineによる教育実践例～」岡山 e-learning 研究会2020年度特別研究会、2021年1月9日（於：環太平洋大学（on-line））</p> <p>2) <u>岡崎弘信</u>「オンライン授業で示された語彙サイズテストの異常値」岡山 e-learning 研究会2020年度研究会、2021年3月14日（於：環太平洋大学（on-line））</p> <p>*学会報告座長</p> <p>1) 岡山 e-learning 研究会2020年度特別研究会 A2、A3セッション座長、2021年1月9日（於：環太平洋大学（on-line））</p> <p>2) 岡山 e-learning 研究会2020年度研究会 A2、A3、A5セッション座長、2021年3月14日（於：環太平洋大学（on-line））</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>*社会活動</p> <p>1) 秋田弁護士会懲戒委員会委員、2019年4月～</p> <p>2) 由利高等学校令和3年度第2学年「課題研究」発表会講評者、2021年11月17日（於：文化交流館カダーレ）</p> <p>*学術論文査読</p> <p>1) ATEM Journal vol.26（1本）</p>
<p>V その他の活動</p> <p>*助成研究</p> <p>1) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（C））、「英語母語話者の航空管制通話と日本人リスニング能力の限界」、2021年4月～2024年3月、研究分担者</p>

加賀谷 真澄 准教授

<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p> <p>1) 加賀谷真澄「再移民した日系人—米国から満州、そしてその後」第6回 日本移民学会冬季研究大会 (2021年12月11日、オンライン開催)</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 社会活動</p> <p>1) 日本比較文学会東北支部役員、2013年6月～</p> <p>2) 秋田県立秋田高等学校同窓会150年記念誌準備委員会副委員長2017年6月～</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p> <p>* 公開講座</p> <p>1) 「日本と台湾の若者」(2021年5月7日、中華大学応用日本語学科主催・オンライン開催)</p>
<p>V その他の活動</p> <p>* 助成研究</p> <p>1) 日本学術振興会科学研究費(基盤研究(B))「冷戦前期・東アジア英米文学のジオポリティックス」(課題番号:20H01243)、2020年4月～2024年3月、研究分担者</p> <p>* 国際交流事業</p> <p>1) 「中華大学(台湾・新竹市)との異文化交流プログラム」2021年5月11日～6月12日(主催者)</p>

山崎 健一 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) Ken'ichi Yamazaki 「The effects of English-speaking extracurricular activities at a Japanese university: An examination of a Japanese teacher's teaching method using pair work」『TELES Journal』2021年3月、第41号、161～174ページ(単著)</p> <p>2) Ken'ichi Yamazaki 「Writing versus Speaking: Effects of Classroom Oral Practice on Speaking Performance of Japanese EFL Learners」『秋田県立大学ウェブジャーナルA』第9号、148～155ページ、2021年12月(単著)</p> <p>* Proceeding</p> <p>1) Ken'ichi Yamazaki 「The Effects of a Long-Term Speaking Training for Japanese College Students in English Club: An Introductory Examination of Extracurricular Activities」『The 60th JACET International Convention Proceedings』43～44ページ、2021年8月(単著)</p>
--

<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p> <p>1) 山崎健一「The Effect of Scaffolding Instruction on Speaking Skills in English Classes: A Comparative Analysis of Assisted and Non-assisted Students' Speaking Skills」59th JACET International Convention、2020年12月5日（リモート開催）</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p> <p>* 公開講座</p> <p>1) 大学高校連携授業「日本人のための英会話基礎練習」、2021年8月（於：秋田県立大学）</p>

ジェイソン・タッカー 助教

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) Tacker J, 「Video Conferencing effects on Student Culture and Motivation in L2 English Classrooms」, 『秋田県立大学総合科学教育研究彙報』, Vol, 22, 2021年12月、59-66 ページ（単著）</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p> <p>1) Tacker J, 「Video Conferencing effects on identity and motivation in EFL classrooms」(JALTCALL 2021), 2021年6月4日～6月6日（於：Japan, Conference オンライン）</p> <p>2) Tacker J, 「Enhancing Online Language Education Through Virtual Reality」, (International JALT 2021), 2021年11月12日～11月15日（於：Japan, オンライン）</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) 全国語学教育学会秋田支部役員（メンバーシップ担当役員2019年10月～）</p>
<p>V その他の活動</p> <p>* 助成研究</p> <p>日本学術振興会科学研究費、基盤研究（C）、20K00837【R2-R4】研究課題「英語学力とエクステンシブ・リーディング（英文多読）の関係」、研究分担者</p>

磯部 靖世 助教

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) Isobe, Y. (2021) The usage of ICT tools for speaking in EFL settings, 秋田県立大学総合科学研究彙報第22号217～220ページ</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p> <p>Yasuyo Isobe. (2021) "Do voice typing tools influence learners' confidence in their own production?" The Japan Association of College English Teachers (JACET) 60th Commemorative International Convention (Online, 2021)</p>
<p>V その他の活動</p> <p>* 助成研究</p> <p>日本学術振興会科学研究費（若手研究）「How do ICT tools for language learning enhance learners' affective development?」（課題番号21K13056）2021年4月～2023年3月、研究代表者</p>

Avanzi Maria Carlotta 助教

<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 学会発表</p> <p>1) Avanzi, Maria Carlotta 「兵庫県一乗寺の銅造観音菩薩立像をめぐって－台座を中心として－」、日本宗教文化史学会第25回、2021年6月27日（オンライン開催）</p> <p>2) Avanzi, Maria Carlotta 「Kudara Kannon: verso la soluzione di un mistero」（「Kudara Kannon: Towards the Solution of a Conundrum」）、XLV Conference on Japanese Studies（イタリア日本研究学会 XLV）、Italy、Sep 17, 2021 - Sep 25, 2021（オンライン開催）</p> <p>3) Avanzi, Maria Carlotta 「Religions Beyond Borders - Buddhism and its Impact on Ancient Japanese Art」、The 4th EU-Japan Young Scholars Workshop / 2021 International New Generation Workshop、Colmar・Alsace、France、Oct 29, 2021 - Oct 31, 2021（オンライン開催）</p>
<p>V その他の活動</p> <p>* 助成研究</p> <p>1) 秋田県立大学 新任教員等スタートアップ支援研究費「地方に遺る白鳳時代の小金銅仏と海外からの影響に関する」、2021年6月 - 2022年3月、研究代表者</p> <p>2) 日本学術復興会科学研究費（研究活動スタートアップ）「地方に遺る白鳳時代の小金銅仏に関する研究」（課題番号21K19952）2021年8月 - 2023年3月、研究代表者</p>